



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.10.21(金)

No. 93



文責
松永

四年生 総合的な学習の時間の取組として…

4年生では、総合的な学習の時間のテーマである「感じ合いたい いろいろな立場の人の思い」に向けて、2学期に入って外部の方の協力も得ながら学習を展開しています。

9月末には、講師をお招きして出前授業「車いす体験学習」を行いました。子どもたちは、車いすやそれに乗った方を見たという経験はあるかと思いますが、実際に乗ったり押したりしたことがあるのは少ないかと思いますが。今回の出前授業では、実際に車いすに乗って操作する体験をしました。初めて乗ってみて、段差があるところは怖いこと、せまいところを通るのは大変なことなどを体感することができました。また、友達を乗せた車いすを押した時も、その重さにびっくりしていました。車いすで生活するのは予想以上に大変だということを感じていました。実体験に基づいた講話も聞く機会をいただきましたが、車いすで生活する際の困り感や大変さなど、具体例を挙げながらの講話でしたので、真剣に聞いて納得する部分も多かったようです。今回の体験を通して学んだことを、実生活に活かしていくことが大切です。日常生活の中でも、誰もが過ごしやすくなるように、自分自身にできることを考えて生活して行ってほしいと思います。



今月の10月14日(金)には、熊本県身体障がい者福祉センターからおいでいただいて、疑似体験学習を行いました。各学級1時間ずつ体験しましたが、二人で心を通わせ、心をつなぐ必要がありました。二人組の一人はアイマスクをつけて、目が見えないという立場に、もう一人はアイマスクをつけた友達が安心して歩けるように声かけやリードをする役割を担当しました。活動に入る前に、講師の先生から「この疑似体験



は障がいをもつ人やお年寄りの立場になってみることで、自分にできることやこれからどんなことに取り組んでいくとよいかを考えるための体験です」と話がありました。また、「突然声をかけると驚かせてしまうことになるし、相手の方は見えていないのだからぶつからない位置に立つように心がける」…と言った助言を参考にしていました。相手の立場に立って考え、行動できるように学習を深めてほしいと思います。



上の活動が行われた体育館で、2つのすてきを見つけました。入り口に「ようこそ」と書いた掲示版が、子どもの手書き文字や折り紙で飾ってあって、嬉しくなるようなものでした。また、体育館に入る前に自分たちでさっさと整列して、静かに動いていきました。

